

「Error Corrector」は毎月1週目号に掲載します。

書いて鍛える ライティング講座 ★☆☆ / Error Corrector ☆☆☆



書いて鍛える ライティング講座

大矢復



7月6日号で出題した課題

初級

以下の日本語を英語に訳してください。

肩が凝らないよう、時々腕をぐるぐる回しましょう。



否定の目的、「～しないように」をどう表すか

沖縄の方言では「私はもう帰ります」のように一人称単数が主語のときにも「もう帰りましょうね」と、あたかも一緒に帰るように言うらしいです。ある種の婉曲表現なのでしょう。面白いですね。でも実は、いわゆる標準語でも同じことをしています。「食事の前には手を洗いましょう」とか、よく標語で書いてありますが、まさかその標語を書いた人が一緒に手を洗ってくれるわけじゃないですよ。洗いなさい」を婉曲に言っただけです。

本文では、Let's ... で始めた答案がかなり多数ありました。文脈次第ではアリですけどね。では例えば、体操のプロが皆さんに「～しましょう！」とアドバイスしているとします。どんな形でそれを表せばよいでしょう？ 答えは単純に命令文を使うことです。例えば、道を尋ねられ「2つ目の通りを右に行ってください」と言うのは、「Take the second right.」で十分です。私たちはこれを「命令文」と読んでいて、赤の他人に使うのは何となく失礼に思えるかも知れませんが、そんなことは全然ないです。You should ... など多かったです。かえってお節介さすぎです。これが、まず今回の1つ目のポイント(意外?)。さて、それでは幾つか答案を紹介します。

- ① You should turn your arms around sometimes not to get stiff shoulders.
(東京都・エミージュ様)
- ② You should make circles with your arms so as not to have stiff shoulders.
(神奈川県・善野清子様)
- ③ You had better rotate your shoulders at times in order not to stiff your shoulders.
(東京都・Akane様)

①、②、③とも出だしに関しては前述の通り。「ぐるぐる回す」は皆さんいろいろな書き方をしていました。①のturn ~ aroundは「ぐるぐる回す」というより「ひっくり返す」でしょうか。水泳などのターンのイメージがあってturnが「回る、回す」だと思いがちですが、むしろ「方向転換する」です。

それと何度か本稿で説明していますが、否定の目的(つまり「～しないように」)を表すのにnot to doを使うのは、文法的にはともかく習慣として、あまりやらないので避けた方が無難です。②のso as not to doや③のin order not to doなら問題ありません。でも③のin order to doは結構硬い文章語なので本問のような文ではオススメもできません。なぜか学校英語の中ではすごく有名なin order to doですが(③の投稿者を含め、高校生の投稿者は軒並みin order to doを使っていました)、学校で有名なほど万能な表現でもないことはぜひ知っておいてください。そういうわけで、もしto不定詞を使って「肩が凝ら

ないよう」を表すなら②のso as not to doが消去法的に最善ということになります。「腕をぐるぐる回す」は、いろいろな表現ができるでしょうが、②はよく考えましたね。circlesと複数形にしていることで「ぐるぐる」が一応表せています。③の方は「肩を回旋させる」。「腕」ではなくあえて「肩」と意識したのが工夫ですが、rotateはまさに「回旋」です。例えばドアノブを90度くらい回してドアは開けるのだからrotate。つまりrotate your arms in circlesなどもう少しハッキリした表現を使った方が良さそうです。それとstiffは形容詞です。

- ④ Swing your arms once in a while so that you won't have stiff shoulders.
(埼玉県・きよつき様)
- ⑤ Windmill your arms from time to time to prevent your neck from becoming stiff.
(東京都・中村太志様)

この講座で何度も述べていますが、目的は④のようにso thatで表すのが便利です。そしてso that節の中は未来形にしましょう。だって「肩が凝らないよう」は目標であり、未確定のことですから。それとswingは「手を振る」ですから、③同様in circlesを付けるべきでしょう。⑤のようにwindmillなんて動詞を使えば、さすがに「ぐるぐる」を単独で表せるでしょう。ただちょっとやり過ぎて肩を壊しそう(笑)。このso thatは特に米語では、thatはほとんど省略されますが、so thatを使った答案のうちthatを省略したものはほとんど見受けられませんでした。そんなところからも何か皆さんあまり使わないのかなあ、などと想像しましたが、便利ですから、ぜひ使ってくださいね！

解答例

Do big arm circles now and then so you won't get stiff shoulders.



8月3日号の課題

初級

以下の日本語を英語に訳してください。

夏場は、傷まないよう何でも冷蔵庫に入れておくので冷蔵庫がいつもいっぱいだ。

↳ [応募要領]

上記課題について、8月31日&9月7日号の本欄で投稿作品を取り上げ、解説します。

- 応募方法 ウェブサイト内の投稿フォーム、email、はがきでの投稿が可能です。解答(お一人様1作品まで)の初めに、必ず「8月3日号の課題」と書き、都道府県、氏名、職業を明記の上、お送りください。投稿作品は小社刊行物などで使わせていただくことがあります。
- 宛先 ウェブサイト: <https://bit.ly/2tyRrSt>
(または右のQRコードからアクセスできます)
〒108-8071 The Japan Times Alpha ライティング係
email: alpha@japantimes.co.jp (件名は writing 8/3)
- 締め切り 8月7日(火)必着



大矢復(おおよただし)

代々木ゼミナール英語講師、著述業。東大文学部卒、同修士課程修了。受験参考書、大学教科書、一般語学書など著書多数。とくに英作文指導に関しては独自の的方法論を持つ。もともと専門はイタリア文学で、英語以外にさまざまな西欧諸語を漂浪した経歴に由来する、斬新な切り口が持ち味。



英語のミス防止する！

Error Corrector

次の英文、どこがおかしい？

According to my opinion, she deserves a lot more respect than she's getting right now.

上の英文はどこかに誤りを含んでいるものの、意味的には「私に言わせると、彼女は現在受けている(敬意)よりも、もっと多くの敬意を受けるべきだ」といった感じになりそうです。それではどこが間違っているのかを考えてい

きましょう。

結論を言うと、According toのところを修正する必要があります。according to ~は「～によると」という意味で、主に情報のソースを示す際に使われる表現です。

◆ The man broke into the store by smashing the windows, **according to** the police report.

(警察の発表によると、その男は窓を割ってその店に侵入したという)

◆ **According to** my sister, it's a good movie.

(姉が言うには、それは良い映画だそうだ)

このaccording toは、「警察の発表によると」「姉が言うには」のように、第三者の発言・発表を引用する際に使われるものです。「私の意見では」「私に言わせると」のように自分の意見を述べる場合には、according to my opinion [me] という形は使わないので注意しましょう。「私の意見では、私に言わせると」は、in my opinion (私の意見では) や、I think (私が思うに) などを用いて表現することができます。

この他、deserveは「～を受けるに値する」という意味の動詞なのでdeserve ... respect (尊敬に値する) という形は問題なし。またa lotは比較級を強調する働きがあるので、a lot more respect (さらに多くの敬意) も文法的に正しい形です。